

のだネット通信

中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail nodanet@sunoki.nifty.com

http://homepage2.nifty.com/noda-net/

ペアレント・トレーニング・ワークショップ 終了

今年度、5月より開始されたこの研修は、7月に無事終了しました。全5回に渡る研修は、千葉県発達障害支援センター・CASの講師3名に来ていただいて、自閉症のお子さんを持つ親の方々と一緒にグループワークを行いました。

とてもわかりやすい講義と、落ち着いた雰囲気の中で、楽しく行われました。その日の講義で伺った内容を自宅で宿題として行い、グループワークで検討する内容でした。

第1回 行動の仕組み

第2回 お子さんをほめよう

第3回 目標を決め、新しく出来ることを作ろう。

第4回 グループワーク

第5回 総まとめ 振り返り／反省会

参加された人からは、「わかりやすかった。」「家でも簡単に行うことができた。」「自信がついてきた。」「子どもと関わるのが楽しくなった。」等、様々な意見を伺うことが出来ました。講義に参加された皆さんも、とても明るく、前向きで、有意義な講義となりました。

平成20年度 中核地域生活支援センター・のだネット 運営委員会 開催しました！！

平成20年6月30日（月）13:30～野田健康福祉センターにて運営委員会を開催しました。

のだネットの活動報告の中で発達障害の相談が増えていること、市との連携は年々深まっていることなど報告がありました。障害者グループホーム等支援ワーカーより昨年度の報告と今年度の事業計画について説明がありました。先日、神奈川の放火事件が発生したことにより、消防法の改正が進んでいることも報告がありました。

コーディネーター部会報告

今回のコーディネーター部会は千葉県特別支援学校流山高等学園にて行いました！！

平成9年から開校され、生徒の社会自立・職業自立に向けた職業教育を行い、卒業時に企業への就労を目指しているとのこと。そのため、就職率は89%とのこと。現在は1学級9名、1学年（5学級）45名、全校135名ですが、入校希望者が多く、昨年の倍率も2.76倍と多いため、来年度は定員を5名増やすことを検討しているとのこと。

午前は所属のコースにて専門実習を行い専門的知識・技能を深め、午後は各教科を学習します。

- 園芸技術科（園芸コース・農業コース）●工業技術科（木工コース・窯業コース・成型コース）
- 生活技術科（手芸コース・縫製コース）

梶山さんの会社訪問記

梶山さんプロフィール

少年期の疾病が進行。現在は在宅生活で奮闘中。呼吸器が24時間必要、移動も電動車いすを使用している

駅のホームにて



会社前にて



ここが会社ビル

在宅での就労を始めて半年が経ち、仕事にも慣れて来たところで、他の社員と顔合わせをすることになり都内にある会社に初めて通勤することになりました。制度上、通勤には介護サービスを使う事ができないので介護費用は会社に負担してもらうことにはなりましたが、都内には一本、電話を入れれば、移動したい時間に空いている福祉タクシー業者を探し出してくれる配車サービスがあり交通には不便を感じませんでした。タクシーの運転手も手慣れた様子で都内では多くの障害のある方が積極的な行動をしていることを窺い知ることができました。都内の街並みを観ながら無事に職場へと辿り着きました。職場の雰囲気実際に触れることで改めて社員としての実感を持つことができました。これからも、初心を忘れず業務に励みます。



職場の皆さんと

お疲れ様でした...



千葉県消費生活の安定及び向上に関する条例

平成20年6月1日施行！

<条例のわらい>

- 消費者被害を予防するためには、消費者自身が必要な知識や判断力を養い、自主的かつ合理的に行動していくことが重要
- 未成年者や高齢者など自立が困難な消費者には、家族や行政などが見守り、気づき、支援することが重要



行政事業者消費者等が、連携・協働して消費者の自立を支援
(情報提供、啓発、教育、相談など)



消費者自身が、消費生活に必要な情報・知識をもち判断力を養う



商品・サービスの正しい情報や、消費者被害の予備知識があれば、消費者自身等が消費者のトラブルの予兆に気づくことができる！



条例についてのお問い合わせ

千葉県消費者センター
・消費生活相談
047-434-0999
・個人情報保護相談
047-431-3827
野田市消費生活センター
04-7125-1111(内線3126)

※県の資料を参照して作成しました。

ちば自殺対策県民フォーラム

全国で年間3万人の方が自殺で亡くなっており、そのうち八都県市では2007年に7,513人、約4分の1を占めています。八都県市では毎年9月を「八都県市自殺対策強化月間」と定め、共同で自殺対策のキャンペーンを行います。

第1部

講演

「心の健康学～ストレスと上手に付き合うために～」 講師:大野 裕氏(慶應大学)

「自死遺族心のメッセージ」

伝え手:高橋 宏子氏(千葉いのちの電話わかちあいの会ひだまり代表)

第2部

パネルディスカッション

「誰もが生きやすい社会の実現に向けて～地域における自殺対策のあり方～」

パネラー

高橋 宏子氏(千葉いのちの電話わかちあいの会ひだまり代表)

中田 暁氏(千葉大学総合安全衛生管理機構准教授)

常岡 久寿雄氏(千葉県弁護士会消費者問題対策委員会副委員長)

大野 裕氏(慶應大学)

コーディネーター

川島 道美氏(県精神保健センター長)

日時:2008.9.12(金)13:00～

16:00

会場:千葉県生涯学習センターホール

対象:県民、保健・医療・福祉・消費者相談関係者等

定員:300名

<申込方法>

電話、はがき、Eメール、又はFAXでお名前、参加人数、お住まいの市町村名、電話番号をご連絡下さい。

<問い合わせ・申込先>

千葉県健康福祉部健康づくり支援課
〒260-8667

千葉県中央区市場町1-1

TEL:043-223-2668

)

